



2017 春季生活闘争ニュース

2017.3.6 第1号 発行責任者 連合北海道組織労働局

国・道、経済5団体に要請行動を実施!

連合北海道は、2017 春季生活闘争のヤマ場を3月15日に控え、3月1日に北海道、3月3日は北海道労働局及び経済5団体（北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体連合会）に対して、賃金・労働条件改善、雇用対策の拡充などの要請行動を実施した。

■北海道経済5団体



北海道経済5団体との労使懇談会で出村会長は、「底上げ春闘2年目だが、大手と中小、正規と非正規の格差は広がっている」とし、「3年連続の賃金改善の流れを継続し、社会全体へ広がりを持たせることが重要。とりわけ経済の自律的成長のためにも消費性向の高い月例賃金のアップと中小企業や非正規労働者の処遇改善が必要」と強調した。さらに、長時間労働の是正や同一労働同一賃金などの働き方改革については、実現に向けて「労使でしっかり議論していくことが重要」であり、ワークライフバランスの実現、違法な働かせ方を根絶するためにもワークルールの遵守に向けて経済団体としても取り組むよう要請した。また、JR 路線維持問題など共通課題の克服に向け、連携・協働して取り組むことを求めた。

北海道経済連合会の高橋会長は、「労使懇談会は重要な場と認識、道内企業の業績は原材料価格の高騰など厳しい環境にあるが、経済の好循環を持続するためにも賃上げが重要と考える。中期的なトレンドで収益が好調な企業も賃上げに協力するよう求めたい」と述べた。他の団体からは「ゆるやかな回復とあるが実感できない」「人材確保のための防衛的賃上げが多く実力以上の引き上げとなっている」といった声が出されるとともに、賞与・一時金を中心に年収ベースの引き上げが重要との本音も述べられた。このほか、連合北海道の浪岡副会長から、非正規社員の処遇改善、時間外労働の縮減、休暇取得の向上に向けた産別の取り組み状況が報告された。



■北海道労働局

会長は、依然として法違反の労働相談が多いことから労働基準監督官など増員を求めるとともに、高度プロ制度、解雇の金銭解決には反対であり本省に上申するよう求めるとともに、若者の離職防止など北海道特有の課題解決、雇用の質の改善等について要請した。



田中労働局長に要請書を
手渡す出村会長(右)



辻副知事に要請をする杉山
事務局長

■北海道

連合北海道の杉山事務局長より要請を受けて、辻副知事は「非正規労働者の処遇改善、良質な雇用の確保に向け、労使一体での改善が必要」で、各種統計数値はいいがか雇用のミスマッチの解消、道外流出の防止など、地域の声も大事にしながら連合北海道の要望をしっかり受け止め対応していきたいと述べた。

2017 春季生活闘争勝利!

3.9全道総決起集会

2017年3月9日(木) 18時～ わくわくホリデーホール(旧札幌市民ホール)